

一般社団法人日本解剖学会 2025(令和7)年度第1回理事会（新旧合同）議事録

日 時：2025(令和7)年1月26日(日) 13:30～15:30

場 所：AP新橋（5階Jルーム）Web会議併催

出席者：寺田 純雄（理事長）、大和田 祐二、尾崎 紀之、仲嶋 一範、福田 孝一（以上、常務理事）、大内 淑代、岡部 繁男、海藤 俊行、阪上 洋行、佐藤 真、島田 昌一、千田 隆夫、徳田 信子、菱川 善隆、藤山 文乃、宮田 卓樹、吉田 成孝、和中 明生（以上、理事）、八木沼 洋行、渡辺 雅彦（以上、監事）、市村 浩一郎、大野 伸彦、竹林 浩秀（以上、常任幹事）、伊藤 杏佳、中村 聡（以上、口腔保健協会）

陪席者：天野 修、飯野 哲、池上 浩司、高山 千利、堀 修、八木 秀司、八代 健太（以上、次期理事）（下線はWeb参加）

欠席者：野田 泰子（理事）

I. 理事長挨拶

寺田純雄理事長より挨拶があった。

II. 議事録署名人の選任

定款第39条の規定により、八木沼洋行・渡辺雅彦両監事が議事録書名人として選出された。

III. 会議記録の確認

以下の会議記録が確認された。

- ・2024(令和6)年度第3回理事会（2024(令和6)年12月21日開催）議事録（案）

IV. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 年会費納入状況について（長期未納者の除名について）

資料に基づき、年会費を3年間未納している会員（43名）のリストが報告された。次回の全国学術集会・総会までに納入がない場合は、除名となることが確認された。

(2) 各種委員会報告について

資料に基づき、各種委員会から活動報告書を収集中であることが報告された。

(3) 2025(令和7)年度定時社員総会の資料作成について

資料に基づき、定時社員総会の資料の作成状況について報告された。

(4) 2025(令和7)年度定時社員総会の案内と書面表決状について

資料に基づき、定時社員総会の案内状と書面評決状の文面について報告された。

(5) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づき、男女共同参画学協会連絡会第23期第1回運営委員会ならびに第23期定時総会（2024年12月10日Web開催、和氣弘明ダイバーシティ推進委員長出席）の議事内容が報告された。

(6) 支部代議員会報告（近畿・九州各支部）

資料に基づき、下記の支部代議員会の議事内容が報告された。

- ・第100回近畿支部代議員会（2024年11月16日開催、大阪大学銀杏会館）
- ・第80回九州支部代議員会（2024年11月16日開催、宮崎市民プラザ）

(7) その他

特になし。

2. 編集報告

(1) 解剖学雑誌100巻1号の構成について

「日本の解剖学の過去・現在・未来」と題して、21名の方に執筆いただいたことが報告された。また、シリーズ記事である「解剖学者の肖像」の過去の執筆者による座談会の内容が掲載されることも報告された。

(2) その他

特になし。

3. 企画・渉外報告

(1) 2025(令和7)年度第130回総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づき、シンポジウムの予定、ならびに常務理事会、理事会、各委員会の開催予定が報告された。次期常務理事会および次期理事会の開催日時がシンポジウムと重なるため、大会事務局にも確認の上で再検討することとなった。

(2) 賞・研究費候補者選考委員会報告

・日本解剖学会奨励賞選考：

資料に基づき、選考の経緯などが報告され、2名を受賞者として推薦することが報告された。

・日本医学会連合「Rising Star リトリート」推薦者選考：

資料に基づき、3名を候補者として推薦することが報告された。

(3) 日本医学会・日本医学会連合報告

資料に基づき、2月21日に開催予定の第92回日本医学会定例評議員会および臨時評議員会、および一般社団法人日本医学会連合 2024年度臨時総会に、大和田常務理事が出席予定であることが報告された。また、1月15日に開催された日本医学会分科会用語委員会（竹田ASI編集委員長出席）の内容が報告された。

(4) 生物科学学会連合報告

資料に基づき、2024年12月21日に開催された生物科学学会連合第30回定例会議（大野常任幹事代理出席）の内容が報告された。研究費・人材育成委員会における「雇止め問題に関する提言」賛同に向けた検討では、解剖学会から提出した条件付き同意の返答とコメントについて、連合で検討中であることが報告された。また、次期動物愛護管理法改正に関わる要望書について、その概要と賛同する方針となったことが報告された。

(5) 日本脳科学関連学会連合報告

資料に基づき、次期動物愛護管理法改正に関わる要望書について、賛同する方針となったことが報告された。

(6) 若手研究者の会について

資料に基づき、APPW2025において開催予定の「若手と学生の研究交流会」（旧春の学校）の概要が報告された。

(7) 国際渉外関係について（KAA、APICA、IFAA等）

資料に基づき、以下の内容が報告された。

○KAAとの相互交流では2025年はJAAからKAAへの派遣年になること

○中国で開催予定のAPICA2025の会頭からのAdvisory Board就任の要請に対し、JAAから寺田理事長、大和田常務理事、竹林常任幹事が対応予定であること

○APICA2027の日本開催に向けた活動の開始を検討すること

○第21回IFAAからの要請に対し、2名のシンポジストを派遣したこと

○IFAAからのJAA復帰の打診に対しては、今後検討していくこと

(8) その他

特になし。

4. 会計報告

- (1) 2024(令和6)年度支部学術集会収支報告（九州支部）
資料に基づき、第80回九州支部学術集会の収支報告があった。
- (2) 2024(令和6)年度決算書概要(案)について
資料に基づき、令和6年度の収支決算報告書案の概要が報告された。
- (3) ホームページアクセス数について
資料に基づき、年間アクセス数の推移状況などが報告された。
- (4) その他
特になし。

5. 理事長報告

- (1) 日本外科学会CST推進委員会・CST事業の法人設立準備委員会報告
料に基づき、令和6年第2回CST推進委員会/CST事業の法人設立準備委員会（令和6年12月11日開催）、および、令和6年度第3回CST推進委員会/CST事業の法人設立準備委員会（令和7年1月14日開催）の報告がなされた。日本CST推進協会の構成については、日本解剖学会の意見が反映される形で新たな案が検討されていることが説明された。
- (2) 美容外科医によるご遺体不適切取り扱い事案について
資料に基づき、令和6年12月末に発生した美容外科医によるご遺体不適切取り扱い事案についての報告と、日本解剖学会の対応について説明がなされた。関係団体の足並み揃えて対応する必要性について議論された。
- (3) その他
特になし。

V. 審議事項

1. 2025(令和7)年度予算(案)について
資料に基づき、令和7年度予算案が承認された。
2. 申請による代議員の募集会告について
資料に基づき、代議員選出規定の変更が承認された。申し合わせの（2）に以下の文言を追加することとなった。
「ただし、解剖学教育・研究担当専任以外の者を推薦する場合、推薦代議員は別途推薦理由書を提出するものとする。」
3. 永年会員の推薦について
資料に基づき、希望する会員（13名）の永年会員への推薦が承認された。
4. 次期理事会への申し送り事項について
資料に基づき、次期理事会への申し送り事項の説明がなされた。
5. 次回理事会・常務理事会・支部長会・各種委員会の日程・議事について
資料に基づき、2025年3月16～19日の理事会・常務理事会・支部長会・各種委員会の日程などについて確認された。理事会と常務理事会については、時間調整を行うことが確認された。
6. 学術著作権協会「AI利用に関する権利委託」対応について
資料に基づき、学術著作権協会より、AI利用に関する権利委託についての依頼を受けたが、まずは現状を維持し、必要が生じたときに改めて検討することとなった。

7. 口腔保健協会OHASYS改修に伴う会費請求方法の変更について
資料に基づき、口腔保健協会会員システム（OHASYS）の改修後にクレジットカード決済とコンビニ決済方式を導入することが承認された。導入は2025年夏ごろを予定している。
8. その他
次回の理事会は、3月19日に幕張メッセにて開催予定であることが確認された（開始時間は調整中）。